

科目名	花 卉 実 習	教員名	岡崎 正昭 森 志郎	開 講 コース	作物生産 花 園 芸	2年次	前・後期
<p>・目的と内容</p> <p>花きは我が国の農業において重要な位置を占め、今後も需要の拡大が期待されている。一方、北海道は夏期の冷涼な気候を活かした切り花の夏秋出荷が盛んであり、花きを学ぶ場としても利点が多い。</p> <p>本実習では、主な切り花、鉢物、花壇用苗物を栽培し、それぞれの栽培管理（品種検討、播種、育苗、施肥、定植、かん水、温度管理、病害虫防除、摘心、採花、出荷等）の基礎について学ぶとともに、花き園芸植物の形態や生理を理解する。また、花き生産農家、花き集出荷場、花き卸売市場等への見学を実施し、生産から流通、消費までの流れを理解する。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：2 単位、授業週数：2 3 回 ]</p>				<p>2 コマ連続授業</p>			
<p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 実習についての説明</li> <li>2 . 切り花ハウスの施肥・畝立て</li> <li>3 . 切り花の定植</li> <li>4 . 栽培したい花壇用苗物の品目検討</li> <li>5 . 切り花の栽培管理（摘心）</li> <li>6 . 花壇用苗物の播種</li> <li>7 . 挿し木実習</li> <li>8 . 花壇用苗物のポット上げ</li> <li>9 . 園芸用土の混合</li> <li>10 . 花壇用苗物の花壇・プランターへの定植</li> <li>11 . 切り花の栽培管理（ネット入れ、葉かき）</li> <li>12 . 花き生産農家の見学</li> <li>13 . 花き集出荷場の見学</li> <li>14 . 切り花一番花の採花練習</li> <li>15 . 切り花一番花の採花、選花、出荷</li> </ol>				<p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 花き研究機関の見学</li> <li>2 . 学内モデルガーデン実習</li> <li>3 . 切り花二番花の採花</li> <li>4 . 切り花の病害虫防除（薬剤散布）</li> <li>5 . 花き卸売市場の見学</li> <li>6 . 花壇用苗物のまとめ</li> <li>7 . 鉢物の管理（かん水、施肥）</li> <li>8 . 花き園芸植物へのわい化剤処理</li> <li>9 . 花き園芸植物の品質保持</li> <li>10 . 切り花ハウスの撤去および土壌改良</li> <li>11 . 秋植え球根の消毒と定植</li> <li>12 . 切り花栽培のまとめ（経費と収入）</li> <li>13 . 作業用具の整理</li> <li>14 . 栽培ごよみの作成</li> <li>15 . 一年のまとめ</li> </ol>			
<p>・講義の進め方</p> <p>栽培および見学を通して、生産から流通、消費までの流れを理解することに重点をおいて実習を展開する。花壇用苗物の生産に関しては育てたい品目を自ら選び、播種から開花までの栽培管理の一切を担当する。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>出席数、実習中の態度、レポートなどを総合的に評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>軍手や長靴、作業着、防寒着は各自が準備すること。雨天時でも温室内の除草作業などを行うので必ず作業着を着用すること。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『色と咲く順でわかる花の名前事典』長岡求著（永岡書店）</p>							